

## 心不全のご病気をお持ちの患者様へ

### 1. 研究の対象

2016年4月1日から2017年3月31日までの間に東京都健康長寿医療センターに入院した患者様で心不全のご病気をお持ちの方

### 2. 研究目的・方法

当センターでは「高齢心不全患者におけるポリファーマシーと入院中の転倒に影響する因子について」の研究を実施しております。心不全患者では、フレイル（身体的・社会的・精神的脆弱性）の頻度が高く、その診断項目（筋力の衰え、歩行機能の低下など）は転倒のハイリスク要因となります。また高血圧、糖尿病、心房細動などの合併症を起しやすいため、処方薬剤が多くなる傾向にあり、高齢になると様々な要因で過度の降圧や内服剤数増加での転倒を含む有害事象が発生することが懸念されております。今回私たちは高齢心不全患者様における転倒がどのような要因で変化しているかを調査し、薬剤の種類や数が関連するのであれば、それを最適化する時期の検討それを回避するために薬を最適化する時期の検討を行いたいと考えています。

具体的には、2016年4月から2017年3月31日に東京都健康長寿医療センターに入院された心不全がある患者様を対象に、通常診療の中で得られた電子カルテ情報を収集・解析します。本研究は患者様お一人ずつの直接のご同意を頂かずに、このお知らせをもって患者様皆様からのご同意を頂いたものとみなさせていただきます。なおこの研究における患者様の費用負担や謝礼などはございません。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、身長、体重、入院日数、処方剤数、降圧利尿剤服薬歴及び投与実施日、糖尿病の有無、血糖降下薬使用、入院中での低血糖、抗精神薬や睡眠薬投与の有無、認知機能、収縮期血圧、拡張期血圧、脈拍、腎機能検査、血清アルブミン、炎症反応、入院中転倒歴（転倒日）、転倒の程度、脳血管障害の既往心房細動の有無、糖尿病の有無およびその治療内容

### 4. お問い合わせ先

研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加をご希望されない場合や、また研究に関するご質問がある場合には、下記の問い合わせ先へご連絡ください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

〒173-0015 東京都板橋区栄町35番2号

研究責任者：東京都健康長寿医療センター薬剤科 主任技術員 島崎 良知

東京都健康長寿医療センター 循環器内科 専門部長 石川 譲治

03-3964-1141 (PHS:64075) 平日 9:00~17:00

-----以上